

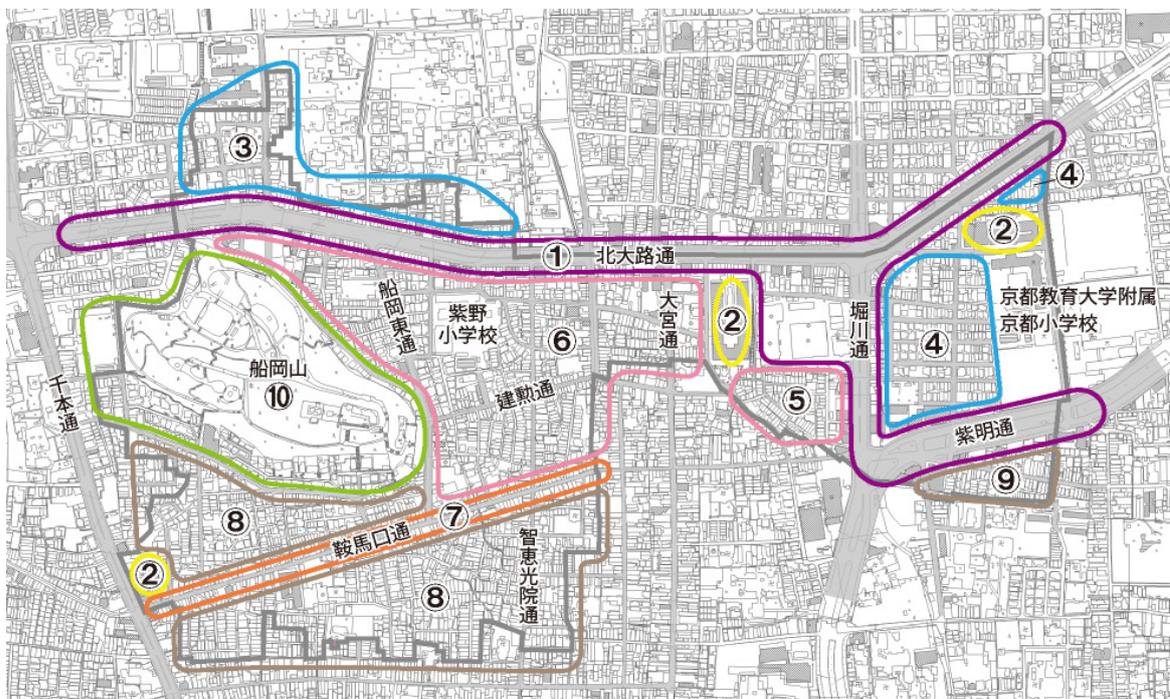
4. エリア別計画

(1) エリア別計画の目的

紫野学区は、市街地の成り立ちや基盤整備の状況などによって、市街地の特性や防災上の課題が異なります。

大きくは、自然発生的に市街化が進んだエリアと土地区画整理事業が行われたエリア、船岡山周辺のエリアに分けられ、さらに、土地区画整理事業が行われたエリアについては、その後の市街地形成の過程により、幹線道路沿道のエリアや路地・木造家屋が密集するエリアなど、いくつかのエリアに分けられます。

防災まちづくりの目標では、学区全体を見据えた中での基本的な方針や具体的な取組の例を示していますが、エリア別計画では、町内ごとに実施した防災まちあるきの結果や意見交換会での住民の皆さんのご意見等も踏まえて、それぞれの市街地特性や課題に応じた取組を示しています。



① 幹線道路沿い	⑥ 北大路通～鞍馬口通
② マンション	⑦ 鞍馬口通沿い
③ 北大路通北側	⑧ 鞍馬口通の背後地
④ 堀川通東側	⑨ 紫明通南側
⑤ 堀川通西側	⑩ 船岡山周辺

エリア計画図 (①幹線道路沿い, ②マンション)

【エリア全体の取組 (①幹線道路沿い)】

- 災害時の緊急輸送路としての機能を確保するため、沿道の建物の耐震化・不燃化を促進
- 空き家の適正管理・利活用等に地域が連携して取り組む

【エリア全体の取組 (②マンション)】

- マンション内でのコミュニケーションづくり
- マンションどうしが交流し、情報を交換しながら、マンション固有の課題に対応した防災対策を推進
- 新しいマンション等に対して、町内会への加入の働き掛け



■マンションの強み＝耐震性

■マンション固有の課題＝停電

- ・エレベーター内への閉じ込め
- ・エレベーターが使えないことにより高齢者が外出できない
- ・揚水ポンプが使えないことによる水不足

【コスモ紫野で行っている防災対策】

- エレベーター内に防災キャビネットを設置 (水、食料、簡易トイレ) →普段は高齢者の腰掛として好評
- 非常階段の最上階に階段避難器具を設置
- 集会所に450本の水を確保 (3本/人)
- 掲示板に、防災あんしんマップ、緊急連絡網、地域集合場所の案内を掲示



大規模な事業所と地域との災害時の協力協定の締結 (一時避難、物資調達等)

凡例

	幅員 4.0m以上の道		避難所
	幅員 1.8m以上 4.0m未満の道		地域集合場所
	幅員 1.8m未満の道		防火水槽
	学区内の防災上主要な道		消火栓
	袋路 (突き当たりが建物)		公園
	袋路 (突き当たりが塀・柵等)		公共施設
	袋路 (突き当たりが扉)		寺社
			町界

図面中の吹き出しは、防災まちるき・意見交換会でいただいた主なご意見やアイデア

凡 例	
	幅員 4.0m以上の道
	幅員 1.8m以上 4.0m未満の道
	幅員 1.8m未満の道
	防災の軸となる幹線道路
	学区内の防災上主要な道
	袋路（突き当りが建物）
	袋路（突き当りが塀・柵等）
	袋路（突き当りが扉）
	避難所
	地域集合場所
	防火水槽
	消火栓
	公園
	公共施設
	寺社
	町界

【エリア全体の取組】

- 建物の耐震・防火改修の促進
- 地域が連携した空き家対策の推進（適正管理・利活用・除却）
- お寺と連携した空き家対策や避難経路の確保等の推進

避難経路や災害活動の場など、防災の軸となる主要な道の防災性の向上

高齢者が多いため、災害時の避難に不安がある

南側には抜けられる

空き家が多い

路地奥に避難用扉を設置して、お寺への避難経路を確保

空き家の適正管理や利活用、空き地を利用した防災ひろばの整備

空き家や空き地が多いが、空き家は手入れされている（大徳寺が所有）

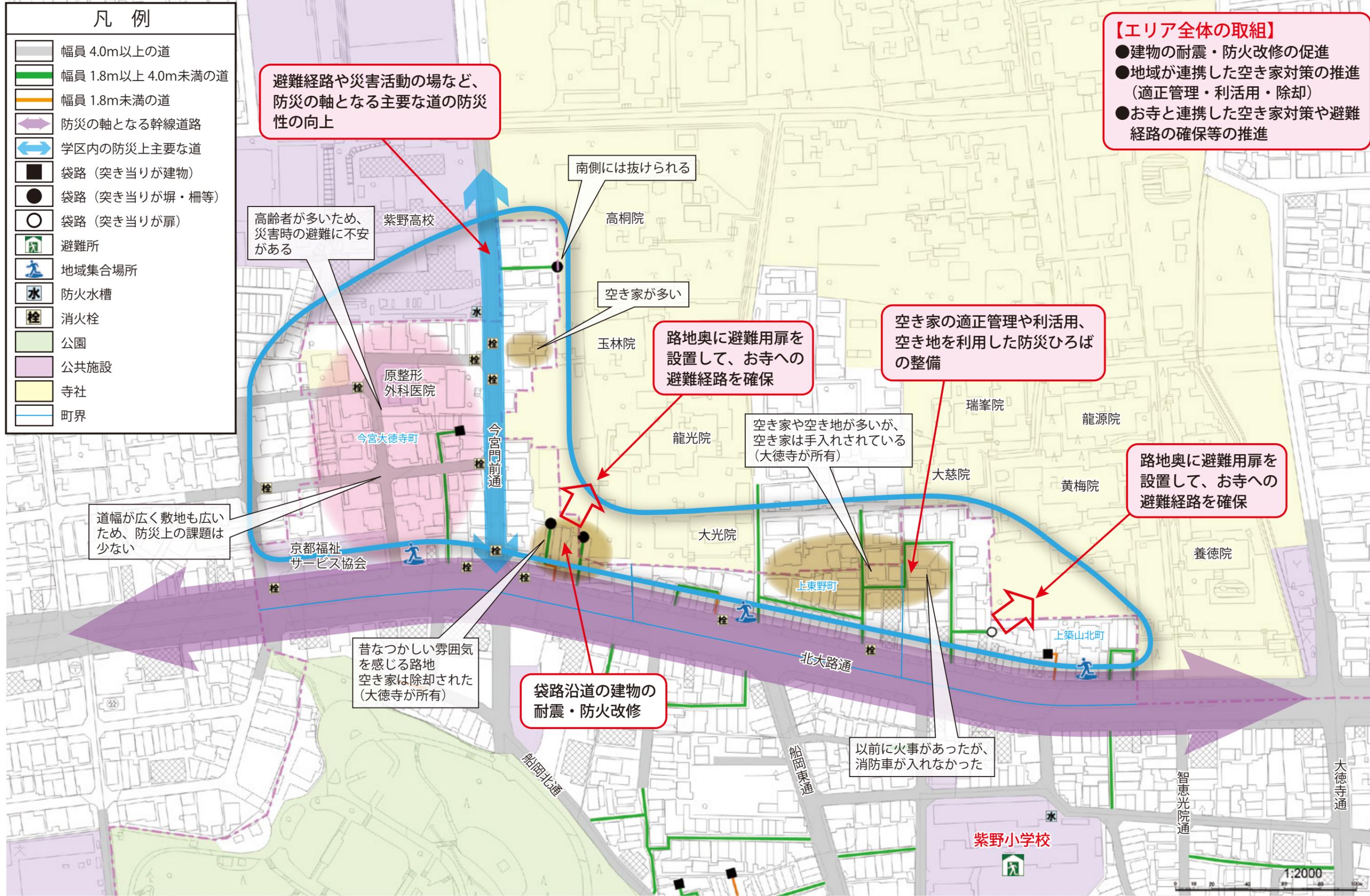
路地奥に避難用扉を設置して、お寺への避難経路を確保

道幅が広く敷地も広い
ため、防災上の課題は少ない

昔なつかしい雰囲気を感じる路地
空き家は除却された（大徳寺が所有）

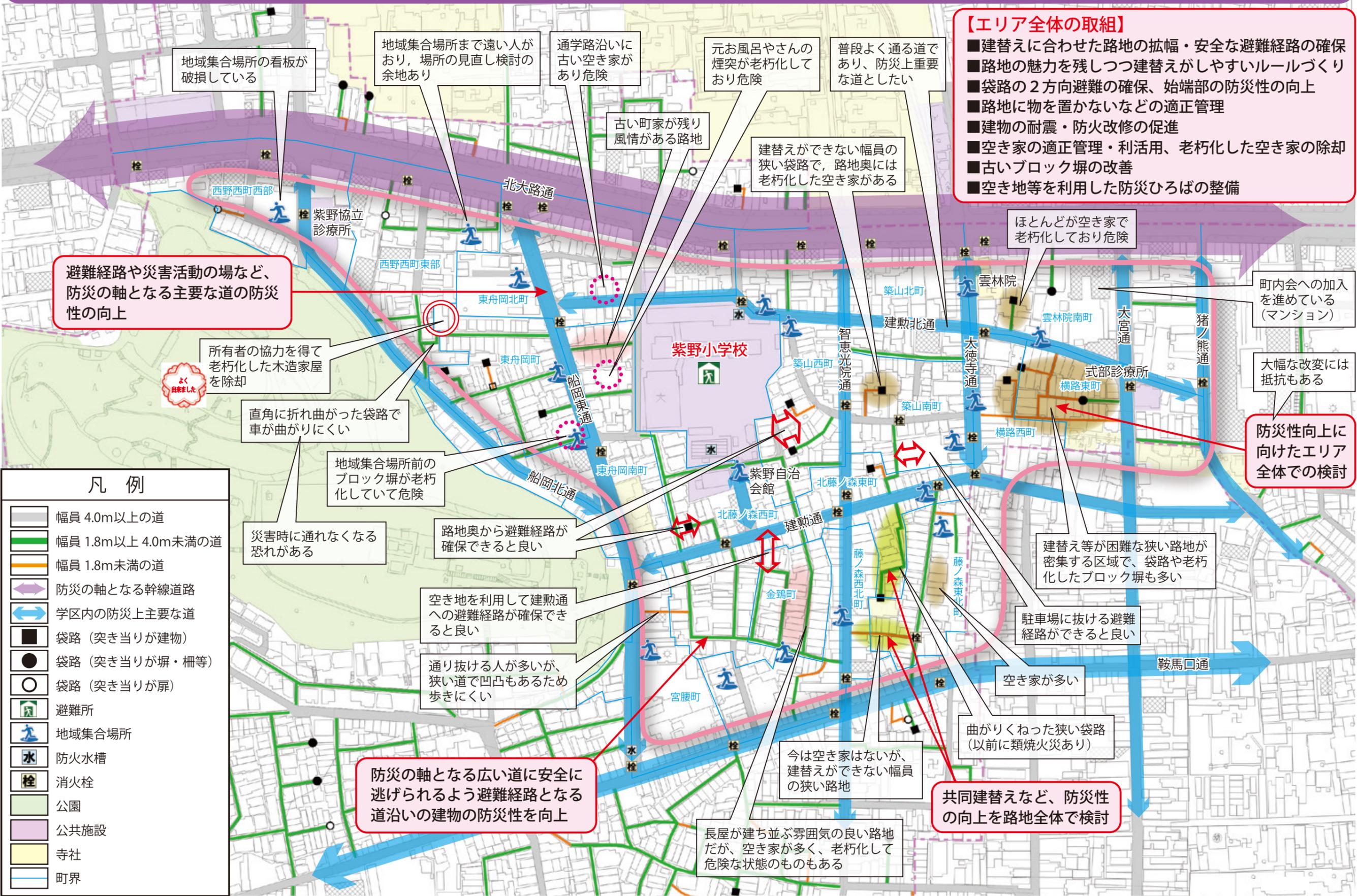
袋路沿道の建物の耐震・防火改修

以前に火事があったが、消防車が入れなかった



図面中の吹き出しは、防災まちるき・意見交換会でいただいた主なご意見やアイデア

エリア計画図 (⑥北大路通～鞍馬口通)



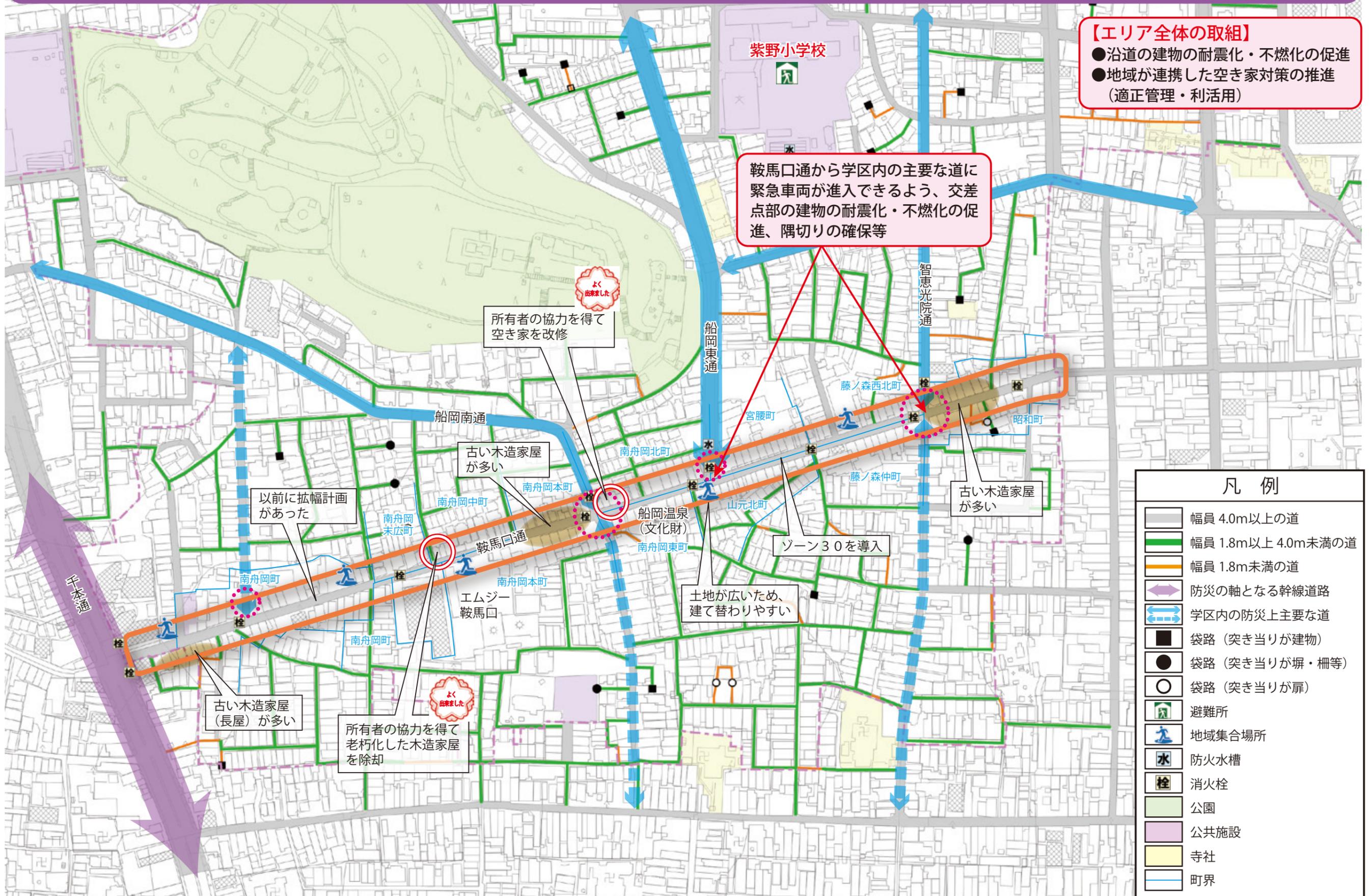
- 【エリア全体の取組】**
- 建替えに合わせた路地の拡幅・安全な避難経路の確保
 - 路地の魅力を残しつつ建替えがしやすいルールづくり
 - 袋路の2方向避難の確保、始端部の防災性の向上
 - 路地に物を置かないなどの適正管理
 - 建物の耐震・防火改修の促進
 - 空き家の適正管理・利活用、老朽化した空き家の除却
 - 古いブロック塀の改善
 - 空き地等を利用した防災ひろばの整備

凡例

	幅員 4.0m以上の道
	幅員 1.8m以上 4.0m未満の道
	幅員 1.8m未満の道
	防災の軸となる幹線道路
	学区内の防災上主要な道
	袋路 (突き当たりが建物)
	袋路 (突き当たりが塀・柵等)
	袋路 (突き当たりが扉)
	避難所
	地域集合場所
	防火水槽
	消火栓
	公園
	公共施設
	寺社
	町界

図面中の吹き出しは、防災まちるき・意見交換会でいただいた主なご意見やアイデア

エリア計画図 (⑦鞍馬口通沿い)



【エリア全体の取組】

- 沿道の建物の耐震化・不燃化の促進
- 地域が連携した空き家対策の推進 (適正管理・利活用)

鞍馬口通から学区内の主要な道に緊急車両が進出できるように、交差点部の建物の耐震化・不燃化の促進、隅切りの確保等

よく出来ました
所有者の協力を得て空き家を改修

古い木造家屋が多い

以前に拡幅計画があった

よく出来ました
所有者の協力を得て老朽化した木造家屋を除却

古い木造家屋が多い

ゾーン30を導入

土地が広いので、建て替わりやすい

凡例	
	幅員 4.0m以上の道
	幅員 1.8m以上 4.0m未満の道
	幅員 1.8m未満の道
	防災の軸となる幹線道路
	学区内の防災上主要な道
	袋路 (突き当りが建物)
	袋路 (突き当りが塀・柵等)
	袋路 (突き当りが扉)
	避難所
	地域集合場所
	防火水槽
	消火栓
	公園
	公共施設
	寺社
	町界

図面中の吹き出しは、防災まちるき・意見交換会でいただいた主なご意見やアイデア

エリア計画図 (⑧鞍馬口通の背後地)

- 【エリア全体の取組】**
- 建替えに合わせた路地の拡幅・安全な避難経路の確保
 - 路地の魅力を残しつつ建替えがしやすいルールづくり
 - 袋路の2方向避難の確保、始端部建物の防災性の向上
 - 路地に物を置かないなどの適正管理
 - 建物の耐震・防火改修の促進
 - 空き家の適正管理・利活用、老朽化した空き家の除却
 - 古いブロック塀の改善
 - 空き地等を利用した防災ひろばの整備

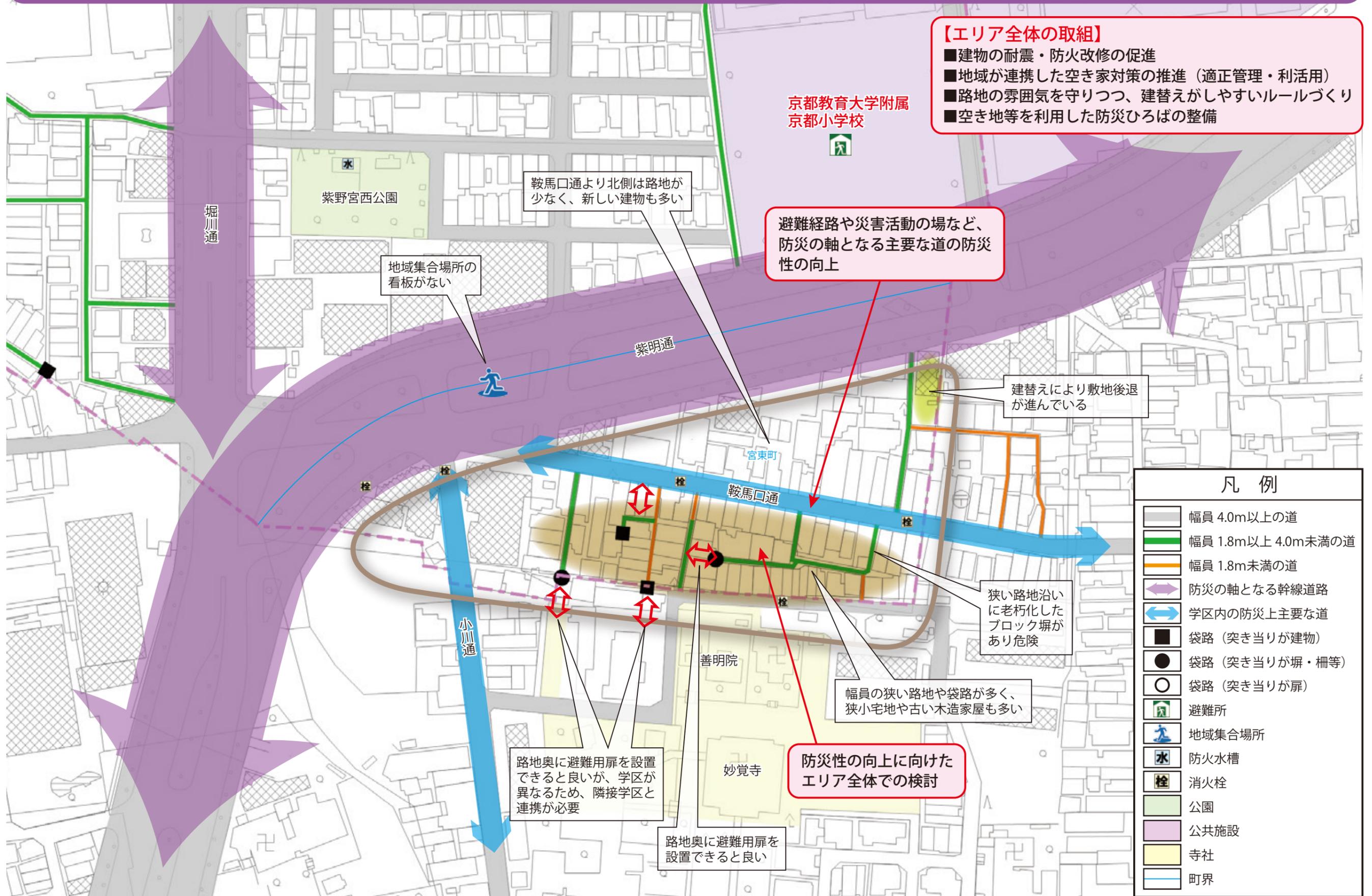
防災性の向上に向けたエリア全体での検討



凡例

	幅員 4.0m以上の道
	幅員 1.8m以上 4.0m未満の道
	幅員 1.8m未満の道
	防災の軸となる幹線道路
	学区内の防災上主要な道
	袋路 (突き当たりが建物)
	袋路 (突き当たりが塀・柵等)
	袋路 (突き当たりが扉)
	避難所
	地域集合場所
	防火水槽
	消火栓
	公園
	公共施設
	寺社
	町界

図面中の吹き出しは、防災まちるき・意見交換会でいただいた主なご意見やアイデア



【エリア全体の取組】

- 建物の耐震・防火改修の促進
- 地域が連携した空き家対策の推進 (適正管理・利活用)
- 路地の雰囲気を守りつつ、建替えがしやすいルールづくり
- 空き地等を利用した防災ひろばの整備

避難経路や災害活動の場など、防災の軸となる主要な道の防災性の向上

建替えにより敷地後退が進んでいる

狭い路地沿いに老朽化したブロック塀があり危険

幅員の狭い路地や袋路が多く、狭小宅地や古い木造家屋も多い

防災性の向上に向けたエリア全体での検討

鞍馬口通より北側は路地が少なく、新しい建物も多い

地域集合場所の看板がない

路地奥に避難用扉を設置できると良いが、学区が異なるため、隣接学区と連携が必要

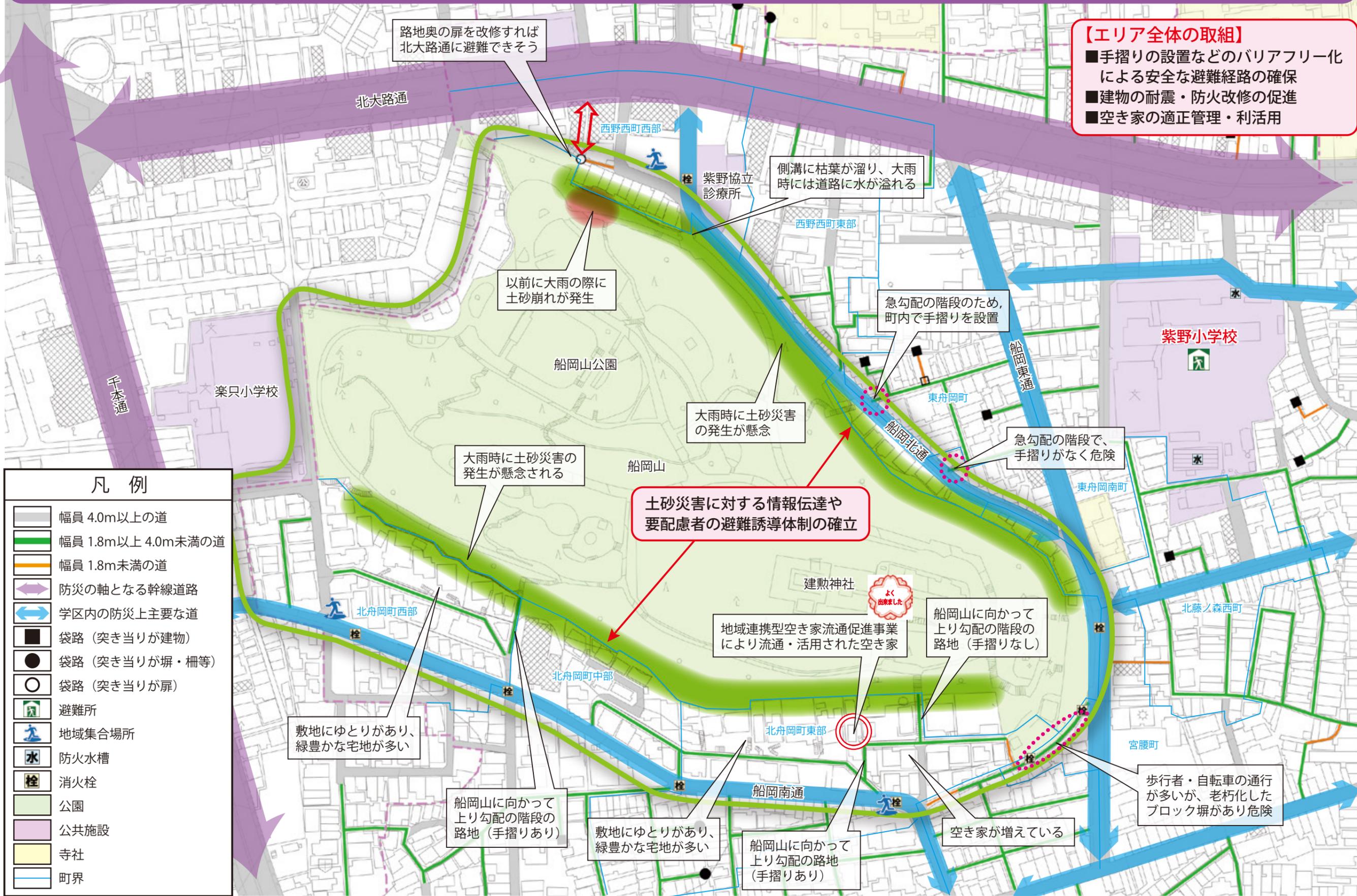
路地奥に避難用扉を設置できると良い

凡 例	
	幅員 4.0m以上の道
	幅員 1.8m以上 4.0m未満の道
	幅員 1.8m未満の道
	防災の軸となる幹線道路
	学区内の防災上主要な道
	袋路 (突き当りが建物)
	袋路 (突き当りが塀・柵等)
	袋路 (突き当りが扉)
	避難所
	地域集合場所
	防火水槽
	消火栓
	公園
	公共施設
	寺社
	町界

図面中の吹き出しは、防災まちるき・意見交換会でいただいた主なご意見やアイデア

エリア計画図 (⑩船岡山周辺)

- 【エリア全体の取組】**
- 手摺りの設置などのバリアフリー化による安全な避難経路の確保
 - 建物の耐震・防火改修の促進
 - 空き家の適正管理・利活用



凡 例

	幅員 4.0m以上の道
	幅員 1.8m以上 4.0m未満の道
	幅員 1.8m未満の道
	防災の軸となる幹線道路
	学区内の防災上主要な道
	袋路 (突き当たりが建物)
	袋路 (突き当たりが塀・柵等)
	袋路 (突き当たりが扉)
	避難所
	地域集合場所
	防火水槽
	消火栓
	公園
	公共施設
	寺社
	町界

図面中の吹き出しは、防災まちるき・意見交換会でいただいた主なご意見やアイデア